



県春闘共闘会議・トラック大運動実行委員会が主催する、トラックパレードが4月22日(日)取り組まれました。

実施目的は県春闘共闘会議の総行動と位置づけ、緊迫した政治状況の中で「アピール効果の大きい宣伝行動」を建交労トラック部会が基軸になって取り組みました。



# 広く市民にアピール

NO. 942  
 発行 2018年5月1日  
 国鉄労働組合新潟地方本部  
 発行責任者 加藤 秀夫  
 編集責任者 教 宣 部

トラックパレード  
 2018年4月22日

## 近鉄レックスに9時に集合

9時に、新潟市西区にある「近鉄レックス」に集合し準備・打ち合わせを行い、トラックへの組合旗やのぼり旗などを飾り付けました。

当日の天候は晴れて日差しが強く暑い日でした。



## 佐藤議長あいさつ

出発式を10時15分から開会、建交労・富井書記長の司会でスタートしました。

はじめに、県春闘共闘・佐藤議長のあいさつがありました。

佐藤議長は「国会では働き方改革について強行しようとしている。

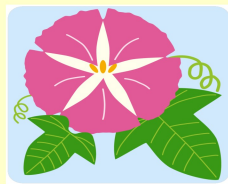
しかし安倍内閣は主旨説明ができていない。野党は審議拒否をしている。6月が会期末だ。廃案に追い込んでいこう。

労働法制について「高プロ制度」は労働時間の規制が無い。どんなことがあっても止める。今日は「トラックパレード」で広く市民に大きく訴え成功させよう」とありました。

# 組織強化拡大 経験交流集会

6月23日(土)

○今年も開催します。具体的な内容については後日、連絡します。よろしくお願ひします。



その後、参加組合から、それぞれ決意表明がありました。国労からは藤井副委員長が春闘の取組みや回答状況が報告、そして決意表明がありました。

集会終了後、11時にトラックパレード車列が発列しました。



今年は、トラックが5台、農機連のトラックが2台、宣伝カーが2台の全体で9台でした。

## 古町宣伝行動 取り組む



11時30分から古町十字路で宣伝行動が展開されました。宣伝行動の中で、今年も「舟江瑞祥太鼓のメンバー」による和太鼓の演奏がありました。

ちようど、トラックパレードの車列が通過する頃に合わせて演奏し、パレードを盛り上げました。

集会、古町十字路での宣伝行動の参加合わせて50名が参加しました。



# ぜひ国労加入を

## 皆様からの相談を受け付けています

### 国労はこんな組合です

JRとJRグループ会社で働く人たちで作る労働組合で東日本だけでなく北海道から九州まで日本全国に組合員がいます。

国鉄がJRになり30年経過しますが、国鉄労働組合（国労）の名称で活動しています。結成から72年。結成当時から働きやすい職場を作るために活動してきました。

私たちは、職場の声をまとめて、職場の環境改善などは現場長へ、労働時間短縮など働く制度の問題については本社へ、労働条件の改善交渉を行っています。

職場の多くの改善課題について、解決をはかってきました。



## 差別がなくなり 加入者増加中

国労には現在、主任職、主務職、助役職で働く組合員が増えています。そして、仕事でも運動でも真面目に取り組む姿勢を見て、多くの若い仲間が国労に加入し、JR採用者の国労加入は200名を越えています。

かつて見られた国労差別は一切無くなり、国労に移ってすぐに主務職に合格するJR採用者も出ています。



## 国鉄労働組合新潟地方本部